

施策評価シート

| | | | | | | |
|------|-----------|--------|--------------|---------|---------------|-----|
| 評価年度 | 平成25年度 | 事業実施年度 | 平成24年度 | 施策主管次長名 | 政策推進部次長 藤根 金光 | |
| 施策番号 | 65 | 施策名 | にぎわいと交流のあるまち | | 総合計画掲載頁 | 138 |
| 関係課名 | 産業課、教育行政課 | | | | | |

1. 施策の概要

| 施策の目的 | 対象 | 対象指標名 | 単位 | H23実績 | H24実績 | H25計画 | H26見込 | H27見込 | H28見込 | |
|-------|------------------|--|-----------|------------------|--------|----------|--------|-------------------|--------|--------------------|
| | | | | ① | 人口 | 人 | 58,762 | 59,141 | 61,400 | 62,500 |
| 意 図 | ・市民 ・事業者(商業者) | ② | 商業者数 | 社 | 1,255 | 1,255 | 1,265 | 1,270 | 1,275 | 1,280 |
| | | ③ | 商業従事者数 | 人 | 14,505 | 14,505 | 14,555 | 14,580 | 14,605 | 14,630 |
| | | ④ | 商業者の商工会員数 | 社 | 502 | 522 | 525 | 530 | 535 | 540 |
| | | 成果指標名 | ① | いいじゃんまつり参加グループ人数 | ② | 三大まつり観客数 | ③ | 商工業活性化補助金による連携事業数 | ④ | 商業者の小規模企業等振興資金利用件数 |
| 意 図 | | ・市民がまつりに参加し、相互に交流を図る ・まつりを通じて、みよし市のPRを図る ・中小企業者(商業者)の活性化を図る ・中心市街地、駅前地の活性化を図る | | | | | | | | |

2. 成果指標

| 指標 | 成果指標名 | 単位 | H23実績 | H24計画 | H24実績 | H25計画 | H26見込 | H27見込 | H28見込 |
|---------------|--------------------|--|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ① | いいじゃんまつり参加グループ人数 | 人 | 2,000 | 3,500 | 2,200 | 3,500 | 3,500 | 3,500 | 3,500 |
| 指標設定の考え方と把握方法 | | いいじゃんまつり参加人数で市民の交流度合いを把握する(観光協会資料) | | | | | | | |
| ② | 三大まつり観客数 | 人 | 87,000 | 115,000 | 122,000 | 115,000 | 115,000 | 115,000 | 115,000 |
| 指標設定の考え方と把握方法 | | 三大まつりの観客数で市民相互の交流度合い本市への近隣からの交流人口を把握する(観光協会資料) | | | | | | | |
| ③ | 商工業活性化補助金による連携事業数 | 件 | — | — | — | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 指標設定の考え方と把握方法 | | 事業者連携によるまちの活性化への取り組み状況を把握する(産業課資料) | | | | | | | |
| ④ | 商業者の小規模企業等振興資金利用件数 | 件 | 44 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 指標設定の考え方と把握方法 | | 事業者の経営、資金繰りの状況を把握する(産業課資料) | | | | | | | |

3. 施策の評価

| 項目 | 評価のコメント | | | | |
|------------------------|---|---|-----|----|--------------------|
| 施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担 | 市民 | ・三大まつりは、市民の自主参加と地域が一体となって盛り上げ、市民相互の交流を深める ・地域の商業施設、店舗を利用する | | | |
| | 行政 | ・魅力あるイベントを企画し、市民交流の推進を図り観光資源を市内外にPRする ・中小業者の融資円滑化を図るとともに経営改善に積極的に取り組んでもらう ・商工会、商工諸団体、商工事業者が実施する事業への支援を行う ・街のにぎわい創出の起爆剤となる施設や計画づくりを行う | | | |
| 達成度評価 | 近隣との比較 | 指標①、②豊田おいでんまつり踊り手10,305人、人口比2.4%、観客数482,248人、人口比114.1%、知立市よいとこまつり936人、人口比1.3%、7,500人、人口比10.6%、安城七夕まつり(DanSpo)1,500人、人口比0.8%、120万人、人口比658.5%、豊明まつり(総踊り)1,000人人口比1.5%、16万人、233%、碧南総踊り2,568人、人口比3.5%、30,000人、人口比41.2%、いいじゃんまつり踊り手2,200人、人口比3.7%、観客数、122,000人で、207.6%となっており他市に比較しても多くの市民交流がなされているものとする。 | | | |
| | 過去3年間の実績との比較 | ・指標①やや減少傾向。指標②減少傾向から増加傾向に転じた。指標④H22に大きく減少したが増加に転じた。 ・前回までの指標である商工会加入率は、24年末以降、景気回復の兆しがみられるものの個人消費は横ばいであり、また、後継者不足等により減少傾向にある。 | | | |
| 現状と課題 | ◆平成24年度は、第20回記念三好いいじゃんまつりとして商工会並びに商工会員の協力を得て、参加者に抽選で賞品を提供するなど新たな取り組みを実施。観客数は増えたが、参加者数は、微増。さらに新しい企画を取り入れていく必要がある。 ◆現状では市民の購買行動は、大規模小売店に集中している傾向にあるため、既存商店等の魅力をアップさせ、活性化させる必要がある。 | | | | |
| 今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み | ◆本市の観光資源PRに努めるとともに、「三大まつり」は、参加者や来場者が安全・安心して、一層楽しく参加できるまつりとなるよう努める。 ◆商工会や商工業者が実施する活性化や既存商店の魅力アップづくりを積極的に支援する。 ◆中小商業者の経営の安定化を図る支援の継続。 ◆図書館を含む複合施設を整備し、中心市街地におけるにぎわいの創出を図る。 ◆駅周辺で足を止めたり、集まったりできる魅力ある空間づくりを進める。 (26年度の取り組み) ・商工業活性化補助金等による商工業者等への支援の継続及び新たな支援策の検討 ・図書館を含む複合施設の建設着手 ・三好ヶ丘駅周辺魅力づくり計画策定の着手 | | | | |
| 市民意識 | 重要度 | 低い | 満足度 | 高い | 平成24年度市民アンケート調査による |